

次代を担う子ども達のために

次世代育成支援計画の実施状況



交通安全教育は、幼いころから習慣づけることが大切

市では、次代を担う子ども達が、健やかに生まれ育つための環境づくりを進めるために、「狭山市次世代育成支援計画」(平成17年度～21年度)を17年3月に策定しました。この計画に位置づけられた184事業の18年度末までの実施状況がまとまりましたので、主な事業の状況をお知らせします。

□ 次世代育成支援計画とは

この計画は、「子どもがのびのびと健やかに育つために」、「親がゆとりをもって安心して子育てができるために」、「地域があたたかく子育て、子育てを支えるために」の3つの視点をもっています。基本理念に、ともに支えあい、元気で安心して子育て・子育てができるまち・さやまを掲げ、子育て・子育て支援施策の一体的かつ総合的な推進を図るものです。

□ 計画全体の実施状況

目標達成は24・1%

計画全体で、目標達成は24・1%
で、おおむね実施達成率70%以上
が48・6%になりました。目標を達

成した主な事業は、延長保育、一時保育の充実、キッズページの開設や子どもの虐待防止ネットワーク会議の充実です。

一方、未着手の事業は、2・7%
で、夜間養護等事業や大学との連携による支援などがあります。

今後、次世代を担う子ども達が、健やかに生まれ育つように市民ニーズを十分考え、計画の推進に努めていきます。

□ 詳細は行政資料室などで

平成18年度までの詳しい実施状況は、行政資料室や市の公式ホームページでご覧になれます。

<http://www.city.sayama.saitama.jp/>

問合せ子育て支援課へ内線1538



キッズページ「さやまっ子クラブ」では、子どもの目線に立った表記を用い、子ども向けの情報に限らず、市政全般の情報も掲載しています

平成18年度 主な施策・事業の実施状況

主な施策・事業	実施状況	21年度末目標
地域の子育て支援施策の推進		
キッズページの開設 市が行う政策や事業、子育てに役立つ情報について、子ども達に分かりやすく内容を伝えるキッズページを公式ホームページ内に開設する。	平成18年7月18日キッズページ「さやまっ子クラブ」を公開し、ほぼ毎日更新した。毎週火曜日に週刊さやまっ子ニュースを配信している。	キッズページの開設
子育て支援サービスに関するネットワークの構築 市民・行政・民間事業者など、地域の子育て支援サービスのネットワークを形成し、きめ細かな情報を効果的・効率的に提供するとともに、サービスの向上を図る。	子育て支援に関するネットワーク形成の検討を行ったが、構築には至っていない。	子育て支援に関するネットワークの構築
親子の健康の推進		
すこやか訪問事業 乳幼児すこやか訪問員を委嘱し、乳幼児健康診査の未受診児家庭を訪問することで、地域での育児支援を推進する。	乳幼児健康診査の未受診児家庭を訪問し、子どもの状況把握と相談・助言を実施。結果などは月1回の定例会で情報交換を行い連携強化に努めた。また、スタッフのスキルアップのため年3回研修を開催した。【未受診児把握率98.5%】	未受診児把握率 90%
援助を必要とする子どもと家庭に対する取り組みの推進		
子どもの虐待防止ネットワーク会議の充実 児童虐待予防、早期発見、早期対応を適切かつ迅速に進めるため、子どもの虐待防止ネットワーク会議の充実を図る。	子どもの虐待防止ネットワーク会議で、代表者会議1回、実務者会議12回、個別ケース会議を23回実施した。なお、平成19年3月に虐待防止ネットワーク会議を発展的に解消し、狭山市要保護児童対策地域協議会を設置した。	要保護児童対策地域協議会の設置
ひとり親家庭自立支援員の配置 ひとり親家庭の自立に向けた総合的な支援を行うため、ひとり親家庭自立支援員を配置する。	平成19年度の早い段階で設置できるよう予算化を行った。	ひとり親家庭自立支援員の配置
仕事と子育ての両立の推進		
保育所整備の推進 待機児童の解消を図るため、保育所整備を積極的に推進する。	保育所定員の増員は図れなかったが、定員の弾力化により入所者数は1,748名となった。	受入人数 1,870名
次代を担う子どもの自立と健全育成の推進		
地域子ども教室推進事業の支援 地域において児童が自主的に参加し、自由に遊べ、安全に過ごすことのできる放課後や週末などの居場所をつくる。	入間川小学校区・堀兼小学校区・狭山台地域のほか、新たに「居場所」としてスペース _{ライ} Tieを中央公民館に開設した。また、広域事業を市内全域を対象に実施した。	支援か所数 7か所
親子が安心して暮らせるまちづくりの推進		
交通安全教育の充実 交通安全教育指針に基づいて、子どもと子育てを行う親などを対象に、交通安全教育を行う。 学校や幼稚園で、園児・児童・生徒・保護者に交通安全教育を行う。	保護者を対象にビデオ視聴、ダミー実験を行い、徒歩、自転車、車での安全な通行の仕方の講話を行った。 ・親子対象交通安全教室を年35回実施 ・各校での交通安全教室の実施 ・交通安全運動期間中の登校指導の実施 ・各校の通学路の危険箇所の確認 ・交通安全ポスターや作文の募集 ・子ども自転車埼玉県大会への参加	親子対象交通安全教室 年28回